

会報 『V・S・O・P』 (Variety Specialty Originality Personality)

◆平成 30(2018)年度(2018.9～2019.8)の役員を紹介します。現在、新役員での活動が行われています。
どうぞよろしくお願いいたします。

役員(14名)：加藤、菊池、鈴木、関塚、塚田、仁平、樋口、廣木、細谷、松原、谷内、山本、吉井、渡辺
所属校：宇都宮、鹿沼東、真岡女子、益子芳星、小山西、栃木女子、矢板



役職名	役員としての意気込み
会 長	昨年度は中部地区会長を務め、JRC 活動に多くの魅力があることを知りました。今年度は会長として、活動がさらに魅力あるものになるようにメンバーと協力するとともに、昨年度の経験を活かしながら積極的に取り組んでいきたいと思ひます。一年間よろしくお願いいたします。
副会長	昨年度会計監査を務めていた者です。前回の反省を生かし、JRC の活動に貢献し、少しでも自分の学んだことを皆さんに伝えられたらと思ひます。新メンバー共々1年間よろしくお願いいたします。
議 長	議長として、スムーズ且つ誰もが発言しやすい雰囲気での会議にできたらと思ひています。県の行事の運営には不慣れなので、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、1年間どうぞよろしくお願いいたします。
副議長	昨年度は書記として先輩の役員の方々から多くのことを学び、活動を行ってきました。先輩方が残してくれたJRCの精神を引き継ぎ、副議長として今年度のJRC活動をより発展させていきたいと思ひます。一年間よろしくお願いいたします。
書記1	今年度、県役員の書記を務めさせていただきます。初めてな事だらけで手探りの状態ではありますが、何事にも全力投球していききたいと思ひます。これから1年間お願いします。
書記2	私は8月のリーダーシップトレーニングセンターに参加し、様々な活動を通して課題を見つけることができました。県役員として活動することで、色々なことを身に付けていきたいです。精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

会計	新役員としてこれから少しでも力になれるように、自ら進んで発言して積極的に活動していきたいです。また、やるべきことや自分の仕事以外にも、気づきを大切にして様々なことに挑戦していきたいです。	
会計監査	新役員として県 JRC をより活性化できるよう努めます。先輩方を良きお手本とし、少しでも早く仕事をこなせるようになりたいです。1 年間どうぞよろしくお願いいたします。	
五人委員会 ※	会報 1	昨年度の反省点と、1 年間トレセン、リー研、スタセンで学んだことを生かし、これからの役員会ではたくさん提案をして、よりよい JRC を作っていききたいと思います。よろしくお願いいたします。
	会報 2	行事等の役割を、責任を持って最後までやりきりたいと思います。分からないことは先輩方に聞き、多くのことを学び、自分自身が大きく成長できるように頑張ります。そして、みなさんと JRC を盛り上げていきたいです。よろしくお願いいたします。
	踏跡 1	昨年度も踏跡を務めさせて頂きました。今年度も同じ役職を務めさせて頂けることに感謝しています。昨年度の私は積極的に行動することができず、あっという間に一年間が過ぎてしまいました。今年度はそのようなことがないよう、もっと積極的に行動し、皆に頼られる存在として頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
	踏跡 2	8 月のトレセンに参加させて頂き、他の JRC メンバーの意識の高さに驚きました。しかし「誰かのために自分に何ができるか」を考え、実践することの大切さを学びました。正直、役員としてしっかり務まるかが不安ですが、新役員として先輩方の意思を引き継いで、少しでも貢献できるように頑張っていきたいと思います。
踏跡 3	「JRC とは何ぞや」と思い赤十字の世界に飛び込んだのは、高校入学の時。自分とは無縁と思っていたのに、だんだんハマっていく自分がいたのです。友達ができ、新たな自分も発見できる機会。そして、メンバーである高校生たちや先生方、支援者の皆様方の連携によって活動が魅力あふれものになっていると思います。いつかは全国に JRC の精神を伝えられるように、まずは栃木からその輪を広げられるよう尽力します。	
中部地区会長	役員としての自覚と責任を持って、活動の一つ一つを全力で頑張っていきます。皆さんの力をお借りしながら中部の活動を活発にし、良い 1 年にしたいと思います。1 年間よろしくお願いいたします。	

※ アンリ・デュナンが、1859 年のソルフェリーノの戦いでの体験を記した本『ソルフェリーノの思い出』が、ヨーロッパ各地に反響を呼び、デュナンの考えを実現しようと集まった 4 人とともに 1863 年にジュネーブに設立した委員会の名称。この委員会の呼びかけで開かれた国際会議により赤十字規約が成立し、翌年に赤十字組織が誕生した。

「五人委員会」は、後に「赤十字国際委員会(ICRC)」(International Committee of the Red Cross)となる。やがて各国に赤十字社・赤新月社が設立され、2018 年現在、191 の赤十字社・赤新月社が世界で活動している。

栃木県役員の会報と機関誌『踏跡』担当の名称は、この委員会に由来する。